

第10章 保 健 体 育

第1節 概 要

保健体育課においては、体育、保健・安全、給食の各分野の相互連携を図りながら、平成5年度福島県教育委員会重点施策である「21世紀を担う心豊かでたくましい児童生徒の育成」と「県民の活力をはぐくむ体育・スポーツの振興」を柱とした各種施策の推進に努めた。その成果は次のとおりである。

また、平成7年に本県で開催される第50回国民体育大会の総合優勝に向けた競技力向上対策については、競技力向上対策本部を中心に、指導者の養成確保、選手の育成強化、特殊競技用具の整備など、各般の施策を積極的に推進した。

1 学校体育の充実

学校における体育・スポーツ活動の充実を図るため、体育担当者及び運動部活動担当者を対象に各種体育実技指導者講習会をはじめ、豊富な経験をもつ民間の優れた指導者を学校に派遣する指導協力者派遣事業等を通して指導者の資質の向上と児童生徒の体力及び技能の向上に努めた。

また、文部省指定の「体力づくり推進校」、「武道指導推進校」、「運動部活動研究推進校」の各種研究校における実践研究や公開発表を契機として、体力の向上のための手だてや生涯スポーツを目指した学習指導の在り方など今日的な課題の解決法について広く普及に努めた。

さらに、本県児童生徒の体力・運動能力の実態を把握するためスポーツテストを実施し、その結果を分析し活用を図るとともに、体力づくりに積極的に取り組んでいる学校を紹介するなど各学校の実態に応じた体力づくりの推進に努めた。

さらにまた、小学校運動競技奨励事業や運動部活動指導者派遣事業を実施し、運動に親しむ児童生徒の育成を図るとともに、体力・運動能力の向上と運動部活動の活性化に努めた。

2 学校保健・学校安全の充実

学校における保健安全の充実を図るため、学校保健関係教職員に対して「保健教育・安全教育指導者研修会」を県内3箇所で開催するとともに「エイズ教育指導者研修会」を県内6箇所で開催、養護教諭に対しては、新採用・経験者Ⅰ及びⅢの研修会を開催し、養護教諭等学校保健関係教職員の資質の向上に努めた。

保健管理の面では、児童生徒及び教職員の健康診断を実施し、疾病・異常の早期発見に努めた。

また、研究推進校関係では、「エイズ教育（性教育）推進地域事業」（文部省指定）を梁川町に指定し、指導体制の整備と予防教育の実践に努めるとともに「むし歯予防推進校」（文部省指定）を相双地区の鹿島町立鹿島小に指定してむし歯予防の推進に努め、さらに、「健康づくり推進校」（県教育委員会指定）を会津地区の山都町立山都第一小に指定して健康教育を総合的に推進し、それらの実践研究と成果の普及に努めた。

次に、安全教育・安全管理の徹底を図るため、学校安全関係教職員を対象に「交通安全教育指導者研修会」を県内3箇所において開催し、その資質の向上に努めた。

また、日本体育・学校健康センター委嘱による「学校安全研究推進校」を喜多方第一幼稚園に指定して、安全教育を総合的に推進し、その成果を地域の学校に普及させるよう努めた。さらに、同委嘱による「学校事故防止対策に関する実践的研究事業」に取り組み、けがや自転車事故の実態把握とともに、災害事故及び交通事故防止の研究に努めた。

顕彰事業関係では、県教育委員会が行う「よい歯の学校表彰」や「健康推進学校表彰」等のほかに、県学校保健会が行う「学校保健優良学校表彰」、日本体育・学校健康センターが行う「学校安全優良学校表彰」を行い、これらの顕彰事業への応募によって、自校の健康教育にかかわる課題の的確な把握や学校保健・学校安全の推進母体である学校保健委員会の活性化が図られるよう努めた。

3 学校給食の充実

本年度の学校給食の実施状況を児童生徒数で見ると、完全給食は小学校で98.5%、中学校では80.5%の実施率となっている。

米飯給食は、小・中学校とも完全給食実施校では100%の実施率となっている。

学校給食費は、一食当たり小学校（中学年）で226円95銭、中学校で265円73銭となっている。

次に、学校給食の充実を図るため、給食関係職員を対象に新任学校給食主任研修会を県内4箇所において開催したのをはじめ、学校栄養職員を対象に新採用・専門研修会を開催して、教育的指導力や資質の向上に努めた。更に新規事業として、校長、教頭等に対し、給食の管理運営や指導上の専門的知識を高める講習会を行い、健康教育の一環としての学校給食指導の充実にも努めた。

さらに、食中毒や労働災害等の事故防止を図るため、研修会及び文書・広報等により衛生思想の啓発、安全管理の指導に努めた。

また、県教委指定「学校給食改善研究指定校」2校を指定し、実践研究及び公開発表を通じて、学校給食の改善・充実に努めるとともに、地域に根ざした学校給食を実現するため学校・家庭・地域との連携に努めた。

4 研究大会の開催

第17回福島県学校体育、保健・安全、給食研究大会を県内関係者550名の参加を得て、相馬市民会館を主会場に1日の日程で開催した。

「自ら進んで健康で安全な生活ができる幼児・児童・生徒の育成を目指して」を大会主題に掲げ、生涯にわたって健康で明るく豊かな生活のできる幼児・児童・生徒を育成するため、学校体育、保健・安全、給食の諸問題について研究協議するとともに、具体的な指針を見だし、多くの成果を収めた。